

衆議院議員

もとむら

けんたろう
賢太郎

もとむら賢太郎プロフィール

昭和45年(1970年)4月生まれ。相模台幼稚園・桜台小・相模台中・県立麻溝台高・青山学院大卒。本村和喜参議院議員秘書、東鉄工業(株)を経て、藤井裕久衆議院議員秘書。平成15年神奈川県議選に選挙区最年少で初当選、平成19年にトップの得票で再選。平成21年衆議院議員初当選。平成24年総選挙で惜敗。平成26年12月衆議院議員再選。民進党国対副委員長、党神奈川県連代表、衆議院国土交通委員会次席理事、議院運営委員会委員理事などを歴任。平成29年10月3期目当選。希望の党副幹事長・国民運動委員長・国会対策委員会役員。



11月1日から、特別国会が開会されました。
皆様にごいただいた3期目の議席。議院運営委員、国土交通委員、
拉致問題特別委員として、しっかり活動してまいります。

10月10日公示、10月22日投開票の第48回衆議院議員総選挙が行われ、9万4,348票をいただき、比例復活で3期目の当選を果たすことができました。党への厳しいご意見をいただく中で前回よりも約1万票増やしたことは、雨の多い選挙期間に多くの皆さまに支えていただいたおかげです。改めて地元・相模原の力となるために活動してまいります。

11月1日から特別国会が召集され、12月9日までの39日間の会期となりました。当初は8日間だった会期ですが、森友・加計問題に関する説明不足や先送りではないかという野党からの指摘を受け、所信表明演説や各党による代表質問を行うよう会期を延長することで合意したものです。せっかくの機会ですから、納得のいく説明を引き出せるように力を尽くしてまいります。

私は、引き続き議院運営委員、国土交通委員、北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員を拝命しました。与野党の質疑時間配分や、北朝鮮問題など注目の事案を取り扱いますので、しっかりと務めてまいります。

希望の党では、当選同期の玉木雄一郎代表のもと、副幹事長・国民運動委員長と国会対策委員会役員を拝命しました。まだまだ走り出したばかりの党ですので、これから皆様のご意見をいただきながら、ご期待に堪えうる党に育てていかねばなりません。

「穏やかな保守もリベラルも集える政策集団へ」その先頭に立つという、皆様とのお約束を果たすために努めてまいりますので、引き続きのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成29年 初冬

もとむら賢太郎

●お問合せはこちら

もとむら賢太郎事務所

【相模原】〒252-0332 神奈川県相模原市南区西大沼3-52-13 大沼センタービル TEL 042-851-6152 FAX 042-851-6162

【国会】〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館606号室 TEL 03-3508-7176 FAX 03-3501-3606

神奈川14区の投票率は、51.95%。過去最低の51.11%(1996年)に次ぐ低投票率となり、中央区では50%を切りました。また、比例の投票先を見れば、**希望と立憲民主を合わせた得票は自民党を上回っています。**

神奈川14区（小選挙区）の得票数 ※()内は前回の結果※選挙区割りの変更があったため、単純比較はできません。

	もとむら 賢太郎	中野渡 じゅん	あかま 二郎	合計 (有効投票数)	投票率
14区全体	94,348 (83,485)	27,640 (22,720)	105,953 (109,408)		
南区	32,700 (29,866)	10,556 (8,720)	33,516 (35,297)	76,772 (79,886)	54.84% (56.63%)
中央区	44,114 (38,225)	12,239 (10,211)	52,251 (53,952)	108,604 (109,446)	49.92% (52.46%)
緑区	17,534 (15,394)	4,845 (3,789)	20,186 (20,159)	42,565 (42,372)	50.73% (52.48%)

比例代表の得票数

	自民	立憲	希望	公明	共産	維新	社民	幸福	大地	こころ	支持 政党 なし
全国	18,555,717	11,084,890	9,677,524	6,977,712	4,404,081	3,387,097	941,324	292,084	226,552	85,552	125,019
14区	98,887	66,342	63,303	38,328	23,783	10,964	3,690	1,129	-	-	-

戦後最低となった前回衆議院総選挙における投票率。今回は、投票日当日台風だったにもかかわらず、若干ですが、前回の投票率(52.66%)を上回り、全国平均で53.68%となりました。全国で最も高かったのは山形県で、64.07%。神奈川県は、全国平均を下回る51.97%となりました。神奈川14区における投票率は、51.63%で、戦後最低ではないものの、前回よりも2ポイント下がっています。なお、戦後最低は1966年の51.11%です。選挙期間中も「入れたい人がいない」というあきらめの声を聴きました。これは政治の責任でもあります。より多くの方に政治に参加していただけるように、地元のみなさんの声をお聞きする姿勢を忘れずに活動を行ってまいります。

こうした中、自民党候補も得票数減らす中、もとむら賢太郎は前回得票(83,485票)から約1万票伸ばし、小選挙区では及ばなかったものの、比例復活を果たしました。

なお、期日前投票には14区全体で、最多となる7万5674人が訪れています。1時間半待ったという声もあり、投票環境の充実も重要な課題となっています。

また、比例の投票先を見ると、希望の党と立憲民主党の得票数が自民党を上回っている点も注目です。全国では希望+立憲で約2,076万票。対する自民党は約1,856万票となっています。この結果から、非自民勢力が必要とされていることがわかります。安倍一強を許さない、確かな勢力を作っていかなければなりません。

10月10日～10月21日、12日間の選挙戦。台風が接近し、雨天が続きました。多くの方のご支援でいただいた3期目のもとむら賢太郎の議席。12日間、「子宮頸がんワクチンの副作用に悩んでいる」「家族のギャンブル依存症に困っている」など様々な声をいただき、ありがとうございました。こうしたお声をいただき、国会に届けていく為、もとむら賢太郎はこれからも街頭に立ち続けてまいります。

